

かわむら **こども** クリニックNEWS

Volume 21 No 2

235号

平成25年 2月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

尊敬する人は「川村先生」

院長

今回はかかりつけの患者さんから頂いた、ちょっと感動もののメールを紹介しします。内容は、当院に通ったことがきっかけで、小学校6年の子が自分の将来の夢を見つけたというものです。お母さんから頂いたメールと返信を紹介しします。

「川村先生。6年の○澤○星と、2年の○星の母です。川村先生には、小さなころより大変お世話になっております。このたび○星が、宮城県立二華中学校に合格しました。ぜひ先生に報告したくて、はじめてメールをさせていただきました。

○星が、二華を目指そうと思ったのは、1年前の6年生の春でした。なんとなく受験した、模試で、作文を書きました。お題は、「尊敬する人」というものでした。○星が書いたのは、川村先生のことでした。小さなころから、治療してもらっていること、家族みな信頼していること、新聞など継続した活動を行われていること、そして、1番の理由は、診察の際、親ではなくて、どのような症状なのか自分から話をきいてくれること・説明してくれること、子供なのに、きちんと話をしてくれることが何より尊敬する点ですと書きました。

二華への出願書類の中に、「将来の夢」を本人が書く欄があり、「川村先生のような信頼される医師になりたいです」と書きました。まだ小学6年生の子供が明確な将来の夢をもつことが出来たことが何よりうれしく、川村先生との出会いがあつてこそだったなあと思います。そして、明確な夢を持つことができたために、1年間勉強もがんばれ、合格できたのかなと思います。中高一貫校なので、6年間過ごす過程で、夢が変わってくるかも知れませんが、今の気持ちを忘れず、がんばっていきましょうと話しています。

小さな頃は、しょっちゅう川村先生とお会いする機会がありましたが、最近は、なかなか病気になることが少なくなりました。定期的にメルマガをいただきながら、先生も忙しくされているなあと思い、私も毎日仕事を頑張っております。

今後もピンチのときには川村先生といつも思っております。お体に気をつけて活躍されてください。

今後とも宜しくお願いします。」

受け取ったメールに対する、院長からの返信です。「メールありがとう。まずは、○星君の合格おめでとうございます。最近受験にも疎くなっているのですが、二華中はなかなか難関みたいですね。

それと、素晴らしく、うれしいメールです。尊敬する人として、自分を挙げてくれたこと。出願の書類に、川村先生のような医師になりたいと書いてくれたことも、本当にありがたく思っています。子どもは、本当に素直な目で物事を見ているのですね。その素直な目だからこそ、自分を評価してくれたことに大きな意味があります。作文の内容も素晴らしく、クリニックとしての活動も、しっかり診てくれていますね。何より自分の話を聞いてくれる、そして説明してくれることをとりあげてくれたこと。基本的なクリニックの診療の理念が、○星君にしっかり伝わってくれたということなのでしょう。そんな思い持てる子に育て上げた、親御さんの力も大きかったのでしょう。

医師という仕事をしてきたせい、ひとに影響を与えることは、人間が生きていく上での大きな役割だと思っています。中学に入る時の動機として、○星君に影響を与えられたことも、嬉しい気持ちでいっぱいです。たしかに、これから先々いろいろなことがあるかもしれませんが、しっかり見守ってあげたいと思います。

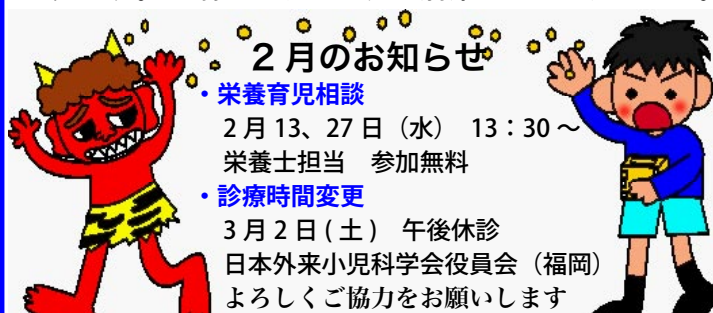
○星君にも、おめでとうと、そして先生も応援していると。あまり、プレッシャーにならない程度に、伝えてあげてください。

まだ早いかもしれませんが、将来の夢が叶うことを心から祈っています。ありがとうございました。」

医師には様々な役割があります。病気の人を診て治療する、それが一番であることはだれでも知っていることです。ご承知のように当院では「お母さんの心配の解消」との理念を掲げ、診療以外にも様々なことに取り組んでいます。院内報、ホームページ、お母さんクラブなどを通して、子育て支援にも力を注いで来ました。我ながら充分と思えるほど、自分の時間を削りながら取り組んできたつもりです。

新生児医療に従事していた時代から、ずっとお母さんばかりみてきたような気がします。“お母さんの安定が子どもの安定に結びつく”、だから“お母さんの不安・心配の解消”だと。今回のことで、改めて、“子どもたちに夢を与える”ことができること、そしてそのことの大切さを気付かせてもらうことができました。

ひとりの人間として、そして小児科医として、従来から追いつけてきた理念に、“子どもたちに夢を与えること”を加えて、もうひとふんばりしなければと思っています。



2月のお知らせ

- ・**栄養育児相談**
2月13、27日(水) 13:30～
栄養士担当 参加無料
- ・**診療時間変更**
3月2日(土) 午後休診
日本外来小児科学会役員会(福岡)
よろしくご協力をお願いします

『**がんばろう！宮城** **がんばろう！日本**』
“みんなでやれば、大きな力に”

読者の広場

先月は8通のメールを頂きました。1月2日のお正月早々頂いた青葉区の千葉さんからのメール。おめでとうメールかと思いましたが…? 「千葉心愛の母です。明けましておめでとうございます。新年早々、大変なケガをさせてしまいました。帰省中ですが、転んで、天然木一枚板の頑丈なテーブルに口を強打。上前歯4本脱臼との事です。救急通信センターから大学病院の口腔外科を紹介され受診。まずは出血を止める事が第一と、縫合などの処置がされました。前歯一本が欠け、一本は歯茎に押し込まれた状態。前歯の両サイドの歯が傾いた状態との事です。次回、レントゲンを撮り、歯の状態を確認し、永久歯に影響が出る可能性があるか調べるとの事です。現時点では治療はなく、永久歯がはえる頃まで、経過観察だけのようです。可愛かった歯もなくなり、永久歯が生えるまで、前歯がないなんて今は口が腫れて本当に痛々しいです。本当に申し訳ないです。前歯がないと声も違います。物を噛みきれないだろうし、横や奥の歯を使い、不便さをなくしてあげられるでしょうか... 春から幼稚園を楽しみにしていたのに、元日からこんなケガをさせてしまい、謝っても謝りきれません。頭を打たなかっただけ良かったと思うしかないと家族に言われましたが、大きなケガです。ケガや治療を思い出しているのが、うなされているようです。年末、体調が回復し「これでお正月が迎えられるね!」と先生におっしゃっていただいて、みんなでワクワクしながら帰省したのに、元日早々、心愛に大変な思いをさせてしまいました。そして、いろいろ考えていたら、かわむら先生が浮かびました。まだ、検査たば、ただ、心愛に悪影響が出ない事を願うだけです。新年早々、申し訳ありませんがメール致しました。まだ私も動揺していて、文面が要領得ないかもしれませんが、お時間ある時に読んでいただければ幸いです。私のボヤキのようなメールからになります。本年も宜しくお願い致します。」



お正月早々大変だった時に、当院を思い出してくれたこと、不謹慎ですがうれしく思います。休みでしたが、すぐに返信のメールを送りました。「メールありがとう。お正月早々大変でしたね。帰省中の出来事だったので、さぞかし皆さんびっくりされたことでしょう。お母さんは後悔しきりかもしれませんが、こう考えましょう。後悔しても、事実がかわりません。ともかくは、今は親が動揺することなく待ちましょう。脳に影響がなかったことは幸だし、顔を何針も縫うほどでもなかったことが幸いと考えましょう。しばらくは不便ですが、だんだん慣れていきます。おそらく、永久歯には問題がないものと思います。うなされるとしても、解決は時間です。お母さんの思い別にしても、明るく笑顔で接してあげてください。そして、大丈夫と信じる気持ちが大事です。心配や後悔すれば早く治るのなら、いくらでもしてください。同じだったら、笑顔を見せる方が大切で、治りが早いかもしれません。心愛ちゃんに、よろしくと伝えてください。それでは、お大事に。」

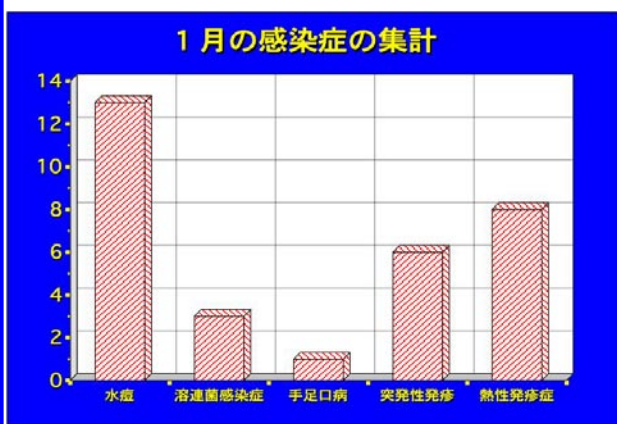
そして、すぐに返事がきました。「ご連絡ありがとうございます。お休み中の事でしたが、先生と連絡が取れた事で、落ち着いてきました。先生のおっしゃる通り、後悔して謝るばかりより、楽しく過ごす時間の方がいいですよ... ようやく、みんなでコーヒーを飲む時間ができ、心愛も動いたり、お話するようになってきました。気持ちを切り替えたつもりですが、また何か問題にぶつかり、先生にメールをしてしまうことがあるかもしれません。今後とも、家族全員宜しくお願い致します。先生も年末は体調を崩されてましたよね... 残りわずかなお休みですが、お体を休めてください。先生のメール本当に嬉しかったです。ありがとうございます。」

「いろいろ考えていたら、かわむら先生が浮かびました」、まさに当院が求め続けている患者さんとの関わり合いです。「お母さんの不安・心配の解消」の理念が生きていると感じました。スタッフにとってもうれしい、そして体調を崩していた自分にとってもあたたかいメールでした。一面記事といい、本当に素晴らしい患者さんに支えられていることを、改めて実感することができました。

お陰様で、2月20日で20周年

2月20日で開業20年を迎えます。20年も長きにわたり診療が続けられてきたのも、かかりつけの患者さん含め多くの人たちの支えのおかげです。

CLINIC NEWS3月号は、20周年記念特集号を発行予定です。記念紙なのでにぎやかにと思っています。お祝いや思い出等、写真、子どもたちの作品等掲載します。なんでも結構ですので、お寄せください。



水痘と溶連菌感染症は減少傾向。グラフに示していませんが、インフルエンザは90人で、下旬から増加傾向です。感染性胃腸炎も多いのですが、インフルとは逆に減少傾向です。インフルエンザは全てA型ですが、B型もちらほらでているようです。当院のTwitter、MailNewsでは週1回インフルエンザ情報を提供しています。ぜひ、ご覧ください

Mail News, Twitter, Blog, Facebook の紹介

Mail News は、420人を越えるお母さんが登録。右上のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

新しい情報発信として **Twitter**、**Blog** 「子どもクリニック四方山話」、**Facebook** ページ、**YouTube** にも取り組んでいます。子育て、医学、趣味、グルメ、旅行記等のおもしろい話題満載。見るだけでも楽しいかもしれません。是非ご覧ください!

Mail News かなり戻ってきます。届かない場合は kodomo-clinic.or.jp をドメイン指定して下さい。



MailNews



Twitter



Facebook



Blog

編集後記

今年は年明けしてから雪が多く、雪掻きで疲れてしまうこともあり、今年は大変です。インフルエンザが1月下旬から流行し、正にピークを迎えようとしてしています。先日東北放送TVでもコメントしましたが、発熱後8時間以上たつてからの受診を勧めます。時間が短いと検査の陽性率が低いため、病院からインフルエンザをもらってしまう危険性もあります。症状が重い場合は止むを得ませんが、軽症の場合は少し待ってから受診しましょう。



麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』 『お母さんクラブ』 現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。!!